

# 今後の調査概要・計画

## 国内調査計画案(概要)

### 国内調査の位置づけ

日本の大学生・大学院生をどのように環境人材として育成していくかのビジョンを検討するために、基礎資料の収集、実態とニーズの把握、そしてそれらの間のギャップを明らかにする分析に活用する。

### 国内調査で明らかにしたい内容

- 大学における環境人材育成の実情
- 大学にて身につけることを期待する知識・技術・能力の具体的内容
- 環境人材への具体的なニーズ
- 国内・海外の大学との既存のネットワーク(環境・環境教育に関連したもの)と、その具体的な運営の内容
- 大学間ネットワークへのニーズと設置の可能性(単位互換・人材交流・交換留学生・教材開発・共同研究・遠隔教育など)

### 調査①:文献調査

既存の文献・資料を精査し、環境人材育成に関する現状やニーズなどを把握するための調査を実施。

### 調査②:聞き取り調査

**大学:** 大学が環境人材育成に向けて行う努力や配慮、大学間ネットワークの可能性についての聞き取り調査。  
**企業等:** 人材活用側として、大学の行う環境人材育成への期待、大学との連携協力の可能性についての聞き取り調査。  
**研究所・NGO:** 環境人材の育成をめぐるさまざまな実情・関心・意見についての聞き取り調査。

#### 大学聞き取り調査

国公立大学・私立大学のバランスをとりつつ、同時に環境系・非環境系それぞれで教育・研究活動を行っている大学を選択

#### 企業等聞き取り調査

第一次・第二次・第三次産業(社会的企業・NPOを含む)と業種別にバランスをとりつつ、大・中・小企業といった規模でもバランスをとって選択

#### 研究所・NGO・有識者等聞き取り調査

アジアの環境の実態について研究・調査している研究所やNGO、また人材育成の取り組みや意識の高い識者を選択

### 調査③:アンケート調査

**大学:** 大学が環境人材育成に向けて行う努力や配慮、大学間ネットワークの可能性についてのアンケート調査。  
**学生環境団体:** 大学生の課外活動である環境学生団体の活動内容や、団体への支援施策を考察するためのアンケート調査。

## 海外調査計画案(概要)

### 海外調査の位置づけ

アジアの大学ネットワーク構築に向けて、現状と課題などの必要な情報を収集し、ビジョン作成に用いる。

### 海外調査で明らかにしたい内容

- アジアの大学での環境人材育成の実情
- 大学生が身につけることを期待する知識・技術・能力の具体的内容
- 卒業生の主たる就職先
- 国内・海外の大学との既存のネットワーク(環境・環境教育に関連したもの)と、その具体的な運営の内容
- アジアの大学間ネットワークへのニーズと設置の可能性(単位互換・人材交流・交換留学生・教材開発・共同研究・遠隔教育など)

### 調査①:共同調査

中国・インド・タイを重点国と捉え、環境系の研究機関である中国環境学会(中国)・エネルギー資源研究所(インド)・タイ環境研究所(タイ)と共同調査を実施。これらの国は、それぞれ北東アジア・南アジア・東南アジアの主要国であることから、地域の代表として詳細な情報収集と検討を行う。

### 調査②:実地・聞き取り調査

**アジア:**環境人材育成へのニーズおよびネットワーク化の可能性について、聞き取り調査(大学および行政機関)。  
**欧米:**大学における環境人材育成・ネットワークに関する先駆的事例についての情報収集・ヒヤリング。

#### アジア大学聞き取り調査の候補先

**韓国:**延世大学、ソウル大学、啓明大学  
**中国:**北京師範大学、精華大学、同済大学  
**インド:**TERI大学、インド工科大学  
**タイ:**アジア工科大学院、カセサート大学  
**フィリピン:**フィリピン大学、ビサヤ大学  
**マレーシア:**サバ大学

#### 欧米大学聞き取り調査の候補先

**イギリス:**ロンドン大学、オックスフォード大学  
**オランダ:**ライデン大学  
**ドイツ:**未定  
**ノルウェー:**未定  
**アメリカ:**カルフォルニア州立大学、コロンビア大学

#### アジア行政機関聞き取り調査の候補先

**中国:**日中友好環境保全センター(中国環境保護総局)  
**韓国:**韓国政府環境省地球環境室  
**タイ:**タイ王国政府天然資源・メコン環境資源研究所  
**オーストラリア:**オーストラリア政府環境水資源部

# 聞き取り調査概要

聞き取り対象		聞き取りによって把握したい内容
国内	企業	環境人材へのニーズ、大学との連携についての希望、参加したいネットワーク(コンソーシアム)のイメージ、等
	大学	環境教育の現状、卒業生の進路(ギャップ)、環境人材の育成メカニズムやそれに必要な施策、参加したいネットワークのイメージ、等
	関連団体	環境人材へのニーズ、環境人材の育成に必要な施策、構築すべきネットワークのイメージ、等
海外	大学・行政機関 (アジア)	環境人材の育成メカニズム、卒業生(人材)の供給先、期待する大学間ネットワークのイメージ、等
	大学 (欧米)	環境人材の育成メカニズム、環境人材の大学間ネットワークの具体例、これまで導入してきた仕組み・支援施策、環境人材の就職先、等

# 国内：企業聞き取り調査項目

ポイント	具体的な聞き取り項目
企業による環境配慮の実態(経営・業務)	<ul style="list-style-type: none"><li>•企業経営の中における環境保全への取り組みの位置づけ</li><li>•事業の中で環境事業、環境配慮をすすめていくにあたって、環境問題への知見のある人材の確保の状況、採用にあたっての環境分野の知見や技能への考慮の有無。</li><li>•入社後の研修の内容、環境にかかる研修の有無等</li><li>•持続可能な企業経営の中・長期戦略の策定、2015年や2050年などの未来像などについて</li><li>•大学での人材育成に対し、大学に期待することについて(特に環境経営を進める観点から)</li><li>•今後の産官学連携による人材育成分野についての関心</li><li>•環境分野に知見のある人材を大学で養成していくにあたって、政府が果たすべき役割について</li></ul>
環境人材に対するニーズの有無(採用・社内研修)	
大学との連携・パートナーシップの現状	
大学での環境教育に対する期待・要望	

# 国内：大学聞き取り調査項目

ポイント	具体的な聞き取り項目
<b>大学における環境教育の現状・実情</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 貴大学が育成することを目指している人材像の中で、持続可能な社会づくりや環境保全を担う人材の育成は明確に位置づけられているか</li><li>• これまでどのような「環境人材」を育成してきているか、環境人材の育成を大学教育の中でどう位置づけているか</li><li>• 環境人材の育成手法として、大学教育（法・経・工など環境を主としない学部または環境系の学部それぞれで）どのような手法をとりいれているか（例として、講義やゼミの手法、それ以外の実習、現地見学等の有無など）</li><li>• 環境に関連した「資格」の取得を大学教育を通じて奨励しているか</li><li>• 環境人材育成を進める上で、大学では不十分な点、もしくは欠けていること何か、何を改善することで環境人材の育成を促進できると認識するか</li><li>• 「環境人材」を育成するために、他大学とネットワークを構築して共同でこれにあたる作業をすでに開始しているか、もしくは今後それに取り組む可能性はあるか</li><li>• 大学における人材育成にあたって、企業や行政などと連携して行っている取り組みはあるか</li><li>• 大学を環境人材の育成の拠点としていくためには、どのような行政による支援があることが望ましいか</li><li>• どのような環境人材育成のネットワーク(コンソーシアム)に参加したいか</li></ul>
<b>環境系の副専攻・コース・資格などの導入の可能性</b>	
<b>企業・NGO・地域との連携の実態・可能性</b>	
<b>期待する大学間ネットワーク・コンソーシアム</b>	

# 国内：関連団体聞き取り調査項目 (NGO・研究所等)

ポイント	具体的な聞き取り項目
大学に期待する環境教育・環境人災育成の方向性	<ul style="list-style-type: none"><li>•組織の長期的な発展を希求する中で「環境人材」の育成についてはどのように捉えているか</li><li>•どのような「環境人材」の育成が、各国(主としてアジア諸国)・各業種(企業・行政等)から期待されているか、または期待されるべきか</li><li>•大学教育で習得すべき環境に関する知識・技術・能力は何か</li><li>•大学教育で取得すべき「資格」は何か</li><li>•現在の大学教育の中で、環境人材の育成を行うにあたって何が欠けていて、何が重要か</li><li>•大学を「環境人材」育成の拠点とするためには、どのような行政による支援があることが望ましいか</li><li>•大学での「環境人材」育成のために、(人材の受け入れ側としては)どのような支援もしくは協力ができるか</li><li>•どのような環境人材育成のネットワーク(コンソーシアム)を形成すべきか</li><li>•どのような環境人材育成のネットワーク(アジアの大学)を形成すべきか</li></ul>
アジアで必要と考える環境人材のタイプ・能力・技術	
産学連携に向けた具体的な支援策についての考え	
期待するネットワーク・コンソーシアムのイメージ	

# 海外：アジア大学・行政機関等 聞き取り調査項目

ポイント	具体的な聞き取り項目
<b>大学でできる環境教育・環境人材の育成の方向性</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>•大学ではこれまで「環境人材」の育成を意識してきたか</li><li>•これまでどのような「環境人材」を育成してきているか、環境人材の育成を大学教育の中でどう位置づけているか</li><li>•環境人材の育成手法として、大学教育どのような手法をとりいれているか（例として、講義やゼミの手法、それ以外の実習、現地見学等の有無など）</li><li>•大学において習得させている環境に関する知識・技術・能力は何か</li><li>•環境に関連した「資格」の取得を大学教育を通じて奨励しているか</li><li>•大学における人材育成にあたって、企業や行政などと連携して行っている取り組みはあるか</li><li>•「環境人材」育成のため、具体的にどのような（日本政府や外部団体からの）支援があることが望ましいか</li><li>•「環境人材」を育成するために、他大学とネットワークを構築して共同でこれにあたる作業をすでに開始しているか、もしくは今後それに取り組む可能性はあるか</li><li>•どのような環境人材育成のネットワークに参加することができるか</li></ul>
<b>大学で獲得できる環境関連の資格</b>	
<b>大学での環境教育に効果的なネットワークについて</b>	
<b>期待する政府（国際機関）からの支援施策</b>	

# 海外：欧米の大学聞き取り調査項目 (先進的取り組み・事例)

ポイント	具体的な聞き取り項目
大学での環境教育・環境人材育成の実際例	<ul style="list-style-type: none"><li>•大学が「環境人材」の育成を意識した当初の動機・目的は何か</li><li>•具体的にどのように環境人材の育成を大学教育の場で行っているか</li><li>•その際政府や国際機関などからの支援があったか</li><li>•環境人材育成の制度やプログラムを軌道に乗せるまでにどのくらいの期間を必要としてきたか</li><li>•これまで何年間で何名の環境人材を育成してきたか、そうした実績をどう評価しているか</li><li>•環境人材の育成を目指した国内・国際的なネットワークに参加しているか</li><li>•どのように途上国の環境人材の育成に貢献しているか</li><li>•今後課題、特にグローバル化を念頭においた国際的連携をどうとらえ、戦略化しているか</li><li>•優良事例もしくは成功事例とされている要因が何であると考えるか</li></ul>
大学間ネットワークの先進事例	
環境人材の育成が成功した要因	
今後の環境人材育成の展開	

# アンケート調査概要

アンケート調査対象		アンケート調査によって把握したい内容
国内	国内大学 約750校 (8-9月実施)	大学の環境人材育成の現状・今後の方針・ネットワーク (コンソーシアム・アジアの大学間)への参加の可否
	環境学生団体 約300団体 (9-10月実施)	団体の活動の概要と方向性、成員のその後、活動を継続・深化するにあたって必要とする施策

# 国内大学アンケート調査項目（案）

- 大学(各学部)の卒業生の数と卒業生の主たる就職先・進路先
- 卒業後の進路先について、大学側の期待と現実とでどんなギャップがあるか
- 学生募集などに際して、大学(学部)の特色をどのように広報しているか
- 大学の広報の中に、「環境」を含めているか
- 大学(学部)で、これまで「環境人材」を育成してきたか否か、してきたとしたらどのような仕組みで環境人材の育成を進めてきたか
- 大学において習得させている環境に関する知識・技術・能力は何か
- 大学教育で取得することができる環境の「資格」は何か
- 大学教育で、環境をどのように取り上げているか、もしくはどのように取り上げることが可能か
- 「環境人材」を育成するためのネットワークに参加しているか、もしくは今後参加する可能性はあるか
- どのような環境人材育成のネットワーク(コンソーシアム・アジア大学間ネットワーク)に参加したいか
- 大学を「環境人材」育成の拠点とするには、政府などからどのような支援を必要とするか

# 環境学生団体アンケート調査項目（案）

- 環境団体結成の目的・動機もしくは団体の使命
- 環境団体が行っている(きた)環境活動の具体的な内容
- 環境団体の構成員の数・所属(～学部何人などの内訳)
- 団体の活動に参加することによって、どのような環境知識・経験を得ることができるか
- 学生団体は大学公認の組織か、もしくは大学から一定の支援を受けているか
- 団体の活動を継続するにあたって困難が生じるとしたらどう  
いう点か
- 団体の活動を継続するために、政府などから支援もしくはプログラムの提供があるとしたら、具体的にどのようなものを期待するか

「持続可能なアジアに向けた大学における環境人材育成」に関するアンケート

回答にあたっての留意事項等

財団法人地球環境戦略研究機関

本調査票は、各大学の代表窓口もしくは事務局宛に送付させていただいております。大変恐縮ではございますが、担当部局・担当者様へ御転送の上、御記入・御回答を御願ひ申し上げます。

1. 調査の対象

本調査票は、わが国の全大学、約750校に送付させていただいております。

2. 調査票への回答者

本調査への御回答は、大学の長期目標の策定や教育内容の検討・実施、他大学との連携などに関係が深いと思われる部署(例えば本部、学長室、教務課、広報など)の方に御記入をお願いいたします。

3. 調査票の構成

調査票は、全8頁で構成されています。基本的に調査票のすべての項目に御回答をお願いいたします。

4. 回答及び提出の方法

調査票に御回答いただき、同封されている返信用封筒で郵送(切手不要)するか、またはFAX(5.参照)により御提出ください。

5. 提出先等

財団法人地球環境戦略研究機関(IGES) 能力開発・教育プロジェクト アンケート係  
〒240-0115 神奈川県三浦郡葉山町上山口 2108-11  
[TEL] 046-855-3845 [FAX] 046-855-3809  
[電子メール] ee@iges.or.jp

6. 提出期限

平成19年(2007年)？月？日(?)【必着】までに御提出くださいますようお願いいたします。

7. 御提出いただいた調査票の取扱い

御提出いただいた回答については、整理した結果を公表させていただく予定です。個別の大学名の公表を希望されない場合は、調査票の問9【その他】において、その旨の欄にチェックを入れてください。調査票は結果をとりまとめて公表する以外の目的には使用いたしません。回答について確認の問い合わせをさせていただく場合がありますので、ご承知おきください。

また、調査票の問9【その他】で、追加調査に御了解いただいた大学には、個別に連絡させていただくことがあります。

「持続可能なアジアに向けた大学における環境人材育成」に関するアンケート

本アンケート調査の、以下の問1から問9の各項目について、御回答をお願いいたします。

本アンケートでは、「あらゆる分野で、各人の専門分野と環境保全との関係性を認識し、職務等の追求の中で環境保全の内在化に取り組むことのできる人材」のことを「環境人材」と定義します。つまり「環境人材」とは、自らの仕事・業務・市民生活などを通じて、経済や社会のグリーン化に取り組んでいくことのできる人材を意味します。  
以下の質問項目は、貴大学の「環境人材育成」状況を把握するためのものです。

問1 貴大学への入学者・学生の傾向についてお尋ねします。

問1-1 貴大学への入学者や学生全般に備わる傾向として、優れていると思われるものに○をつけてください(複数回答可)

	①環境への関心		②基礎的知識・理解		③情報収集・発展力
	④横断的把握力		⑤柔軟性		⑥積極性
	⑦参画力		⑧想像力		⑨コミュニケーション力
	⑩問題解決能力		⑪計画力・立案力		⑫実行力・展開力
	⑬状況把握力		⑭企画力		⑮発信力
	⑯指導力・率先力				
	⑰その他(具体的に:				

問1-2 逆に、貴大学への入学者や学生全般に備わる傾向として、不足していると思われるものに○をつけてください(複数回答可)

	①環境への関心		②基礎的知識・理解		③情報収集・発展力
	④横断的把握力		⑤柔軟性		⑥積極性
	⑦参画力		⑧想像力		⑨コミュニケーション力
	⑩問題解決能力		⑪計画力・立案力		⑫実行力・展開力
	⑬状況把握力		⑭企画力		⑮発信力
	⑯指導力・率先力				
	⑰その他(具体的に:				

問2 貴大学の一般教育課程(1・2年次対象)についてお尋ねします。

問2-1 貴大学の一般教育課程(1・2年次対象)では、「環境人材」の育成という視点も含めた高等教育に取り組まれていますか。

	①取り組んでいる
	②今後取り組みを検討したい
	③取り組みを検討するつもりはない

→またそれは、どのような理由によりますか。ご記入ください。

--

問2-2 問2-1で①、②と回答された方に伺います。

①と回答された場合、具体的にはどのような形で進められていますか？

または②と回答された場合、どのような形で環境人材育成を進めることにご関心がありますか？

(3つまで回答可)

<input type="checkbox"/>	①一般教養課程における講義・演習
<input type="checkbox"/>	②一般教養課程の実習・フィールドワーク等
<input type="checkbox"/>	③環境に関する単発型のセミナー・ワークショップの開催
<input type="checkbox"/>	④寄附講座による環境に関する特別講義の設置
<input type="checkbox"/>	⑤環境系の資格取得のための講座の充実
<input type="checkbox"/>	⑥企業等へのインターンシップの派遣
<input type="checkbox"/>	⑦環境系サークル(課外)活動の奨励
<input type="checkbox"/>	⑧環境ボランティアの奨励
<input type="checkbox"/>	⑨図書館・情報センター等の情報集積・発信システムの充実
<input type="checkbox"/>	⑩海外提携大学への留学支援
<input type="checkbox"/>	⑪その他(具体的に:

問3 貴大学の一般教育課程(1・2年次対象)についてお尋ねします。

問3-1 貴大学の一般教育課程(1・2年次対象)では、「環境」についての基礎的な理解を目的とした講義・演習等を設置していますか。

<input type="checkbox"/>	①設置している → 問3-1-1へ
<input type="checkbox"/>	②設置していない → 問3-2-1へ

問3-1-1 当該講義・演習の履修が、必修か選択かをお答えください。

<input type="checkbox"/>	①必修
<input type="checkbox"/>	②選択
<input type="checkbox"/>	③講義によって必修と選択がある

問3-1-2 一般教育課程(1・2年次対象)で「環境」のテーマを取り上げたどのような講義・演習を具体的に配置していますか。講義・演習の中から3つまで、タイトルと概要をご記入ください。(また可能であれば、参考までに該当のシラバスのコピーを添付していただけますと幸いです)

講義・演習名	講義・演習のねらい・概要

問3-1-3 一般教育課程(1・2年次対象)で、履修した学生に対して、以下の中からどのような能力を身につけてほしいと考えていますか。(複数回答可)

①環境への関心	②基礎的知識・理解	③情報収集・発展力
④横断的把握力	⑤柔軟性	⑥積極性
⑦参画力	⑧想像力	⑨コミュニケーション力
⑩問題解決能力	⑪計画力・立案力	⑫実行力・展開力
⑬状況把握力	⑭企画力	⑮発信力
⑯指導力・率先力		
⑰その他(具体的に:		

問3-1-4 一般教育課程(1・2年次対象)で「環境」のテーマを取り上げた講義・演習はどういったスタッフによって教育が行われていますか。(複数回答可)

①貴大学の専従の教員によって
②外部からの非常勤講師によって
③サテライトなどの遠隔教育によって
④その他(具体的に:

問3-2-1 貴大学の一般教育課程(1・2年次対象)で、「環境」についての基礎的な理解を目的とした講義・演習等を設置していない理由は何ですか。

①大学教育の主題に環境が掲げられていない
②大学教育の趣旨に環境が含まれていない
③カリキュラム上環境を取り上げることが困難
④環境に関する講義を担当できる教員がいない
⑤環境についての講義を置く意義がない
⑥その他(具体的に:

問3-2-2 今後、一般教育課程(1・2年次対象)で、「環境」についての基礎的な理解を目的とした講義・演習等を設置する予定はありますか。

①現在設置を検討中
②今後設置を検討したい
③設置を検討するつもりはない

→またそれは、どのような理由によりますか。ご記入ください。

--

問4 貴大学の専門教育課程(3・4年次程度対象)についてお尋ねします。

問4-1 貴大学の専門教育課程(3・4年次対象)では、「環境人材」の育成という視点も含めた高等教育に取り組まれていますか。

	①取り組んでいる
	②今後取り組みを検討したい
	③取り組みを検討するつもりはない

→またそれはどのような理由によりますか。ご記入ください。

--

問4-2 問4-1 で①と回答された場合、具体的にはどのような形で進められていますか？

②と回答された場合どのような形で環境人材育成を進めることにご関心がありますか？(3つまで回答可)

	①専門教育課程における講義・演習
	②専門教育課程における講義・演習
	③専門教育課程における実習・フィールドワーク等
	④環境に関する単発型のセミナー・ワークショップの開催
	⑤寄附講座による環境に関する特別講義の設置
	⑥環境系の資格取得のための講座の充実
	⑦企業等へのインターンシップの派遣
	⑧環境系サークル(課外)活動の奨励
	⑨環境ボランティアの奨励
	⑩図書館・情報センター等の情報集積・発信システムの充実
	⑪海外提携大学への留学支援
	⑫その他(具体的に:

問 4-3 貴大学でのカリキュラムの履修を通じて、取得可能な環境に関する「資格」があれば、以下の欄に具体的に記入ください。

資格の名称	資格の内容

問 4-4 貴大学には「環境」を冠した、もしくは環境に関する学部・学科・コースなどを設置していますか

	①設置している → 問4-4-1へ
	②設置していない → 問5へ

問4-4-1 貴大学の「環境」を冠した、もしくは環境に関する学部・学科・コースの名称とその概要をご記入ください。

学部・学科・コース	概要

問 4-4-2 環境を冠した、もしくは環境に関する学部・学科・コースを設置した背景は、以下のどれにあたりますか。(複数回答可)

<input type="checkbox"/>	①従来から大学で環境についての教育・研究を扱ってきたから
<input type="checkbox"/>	②「環境」についての教育・研究が重要となってきたことから設置した
<input type="checkbox"/>	③大学の特色を出すために、環境を前面に出すことにした
<input type="checkbox"/>	④旧教養部や旧来の学部・学科の改組にあたり新たに環境をとりあげた
<input type="checkbox"/>	⑤その他(具体的に:

問 4-4-3 環境を冠した、もしくは環境に関する学部・学科・コースの専門教育課程(3・4年次対象)では、履修した学生が以下の中から身につけてほしいとしているものは何ですか。(複数回答可)

<input type="checkbox"/>	①環境への関心	<input type="checkbox"/>	②基礎的知識・理解	<input type="checkbox"/>	③情報収集・発展力
<input type="checkbox"/>	④横断的把握力	<input type="checkbox"/>	⑤柔軟性	<input type="checkbox"/>	⑥積極性
<input type="checkbox"/>	⑦参画力	<input type="checkbox"/>	⑧想像力	<input type="checkbox"/>	⑨コミュニケーション力
<input type="checkbox"/>	⑩問題解決能力	<input type="checkbox"/>	⑪計画力・立案力	<input type="checkbox"/>	⑫実行力・展開力
<input type="checkbox"/>	⑬状況把握力	<input type="checkbox"/>	⑭企画力	<input type="checkbox"/>	⑮発信力
<input type="checkbox"/>	⑯指導力・率先力	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	⑰その他(具体的に:				

問5 貴大学の大学院についてお尋ねします。

問5-1 貴大学の大学院の課程では、「環境人材」の育成という視点も含めた高等教育に取り組まれていますか。

<input type="checkbox"/>	①取り組んでいる
<input type="checkbox"/>	②今後取り組みを検討したい
<input type="checkbox"/>	③取り組みを検討するつもりはない

→またそれはどのような理由によりますか。ご記入ください。

--

問 5-2 貴大学の大学院には「環境」を冠した、もしくは環境に関する専攻科などを設置していますか

<input type="checkbox"/>	①設置している → 問5-2-1へ
<input type="checkbox"/>	②設置していない → 問6へ

問5-2-1 貴大学の大学院で「環境」を冠した、もしくは環境に関する研究科の名称とその概要をご記入ください。

研究科の名称	研究科の概要

問5-3 問5-2 で①と回答された場合、具体的にはどのような形で進められていますか？、②と回答された場合、どのような形で環境人材育成を進めることにご関心がありますか？(3つまで回答可)

①大学院課程における講義・演習
②大学院課程での実習・フィールドワーク等
③環境に関する単発型のセミナー・ワークショップの開催
④寄附講座による環境に関する特別講義の設置
⑤環境系の資格取得のための講座の充実
⑥企業等へのインターンシップの派遣
⑦環境系サークル(課外)活動の奨励
⑧環境ボランティアの奨励
⑨図書館・情報センター等の情報集積・発信システムの充実
⑩海外提携大学への留学支援
⑪その他(具体的に:

問6 貴大学・大学院の卒業生の進路についてお尋ねします。

問6-1 貴大学・大学院の卒業生は、環境に関する知見を活かした就職をしていますか。

①環境に関する知見を活かした就職ができている →問6-2へ
②環境に関する知見を活かした就職ができていない
③どちらともいえない

問6-2 貴大学・大学院の卒業生が環境に関する知見を活かした就職をしている場合、具他的にはどのような業種に就いていますか。該当する業種に○をつけてください。

1.水産	2.ゴム	3.精密機器	4.鉄道・バス
5.鉱業	6.窯業	7.その他製造業	8.陸運
9.建設	10.鉄鋼業	11.商社	12.海運
13.食品	14.非鉄金属・金属製品	15.小売業	16.空運
17.繊維	18.機械	19.銀行	20.倉庫・運輸関連
21.パルプ・紙	22.電気機器	23.証券	24.通信
25.化学工業	26.造船	27.保険	28.電力
29.医薬品	30.自動車・自動車部品	31.その他金融業	32.ガス
33.石油	34.その他輸送機器	35.不動産	36.公務員
37.その他(具体的に:			

問6-3 大学教育を通じて育成した人材は、卒業後に社会人として企業や行政などで活躍することになります。貴大学は、人材を受け入れる企業や行政などと、どのような連携を図っていきたいと考えますか。

--

問7 環境人材育成にあたっての関係主体等との連携についてお尋ねします。

問7-1 貴大学における環境人材の育成にあたって、企業や地域社会等の協力を得るなど、連携されていますか？

<input type="checkbox"/>	①連携している
<input type="checkbox"/>	②連携していない
<input type="checkbox"/>	③現在は連携していないが、今後連携していきたい

→連携している場合、具体的にはどのような形でされていますか。

問7-2 大学が企業や地域社会と環境人材の育成で協力しようとした場合、問題となるのはどのような点ですか。

問7-3 環境人材育成に向けて産学官の連携を支援するための施策を政府が検討する場合には、貴大学はどのような支援策を期待しますか。またはどのような施策の元であれば連携に参加したいですか。

問8 大学における環境人材の育成に関して、ご意見やご提言がありましたらご記入ください。

問9 【その他】 本調査票の御回答者について

記入者名				記入者の御所属	
御連絡先	〒				
	TEL	FAX		E-mail	
大学名の公表について、どちらかに○をつけてください			構わない	・ 希望しない	
追加調査の依頼について、どちらかに○をつけてください			構わない	・ 希望しない	

ご協力ありがとうございました。